

**省エネは利益に直結。
まずは診断でエネルギーの見える化を！**

(省エネ最適化診断・省エネ補助金 説明資料)

【本資料のお問い合わせ先】

経済産業省 北海道経済産業局

資源エネルギー環境部 エネルギー対策課

担当：神田、澤崎、市村

札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎4階

電話：011-709-2311（内線2635～2636）

E-mail：hokkaido-energy@meti.go.jp

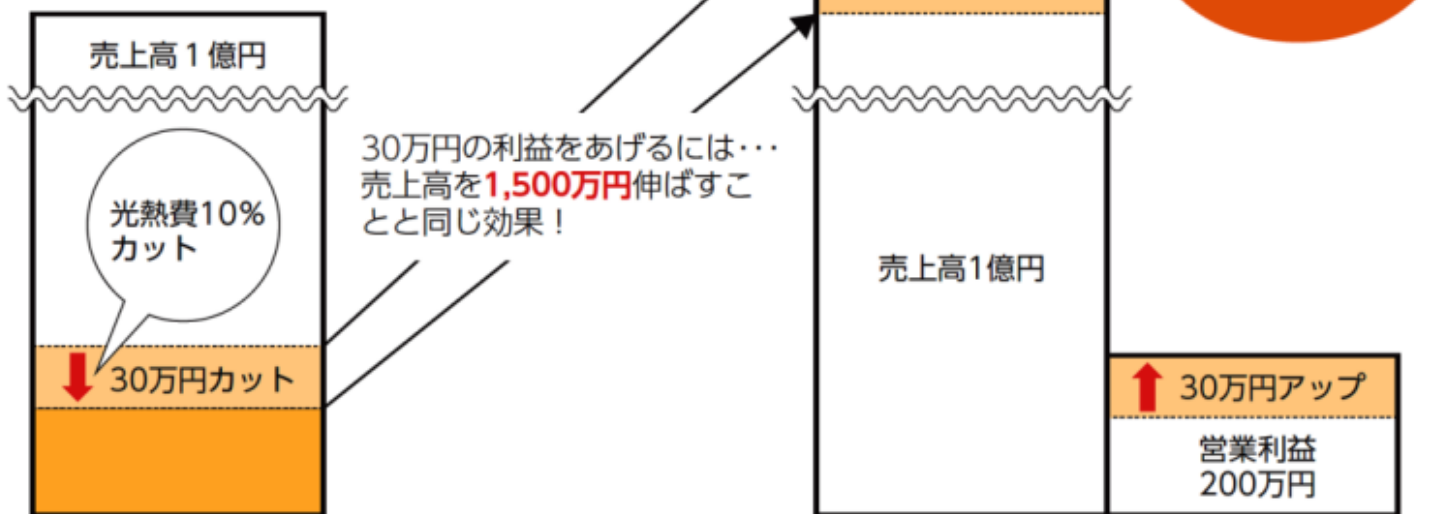
1. そもそも省エネって？

- 「省エネ」はガマンではありません。
- 企業が事業活動を行う上で、余計なエネルギーを使わず、ムダを省くための創意工夫です。
- 省エネにより削減したエネルギーコストは、利益に置き換えられます。
- コスト削減効果は次年度以降も持続し、さらに、設備投資資金の回収後も継続します。

削減した「コスト」は利益そのもの！！

— しかも、効果の継続が可能です。 —

例えば、売上高1億円、光熱費が売上高の3% (300万円)、営業利益率2%の企業の場合、光熱費を10%カットすると…



2. 省エネに取り組む上で

- 省エネは、現場担当者だけが技術的に知っていれば良いものではありません。
省エネのメリット・重要性は、経営者にこそ理解していただく必要があります。
- 省エネを行う上で重要なのは「見える化」です。
- 「見える化」により得られたデータから、光熱費削減による利益確保、さらには経営力強化につながる「気づき」が得られます。
- 「見える化」を行った上で、「正しい省エネ」を実践することが重要です。
- そして、省エネの効果を最大限高めるためには、省エネの取組を改善しながら継続して取り組むことが重要です。

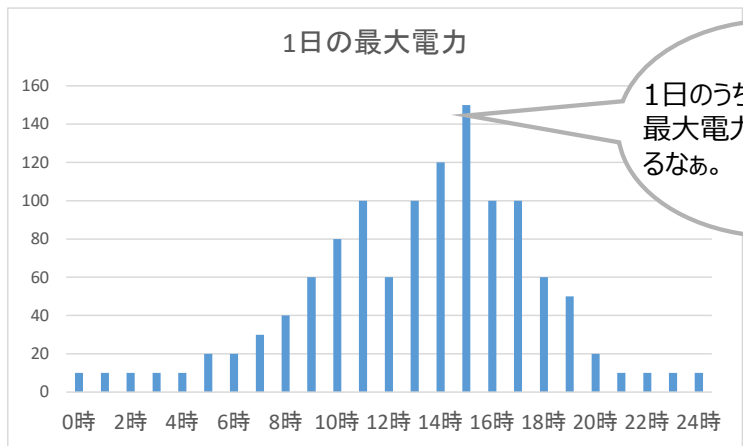
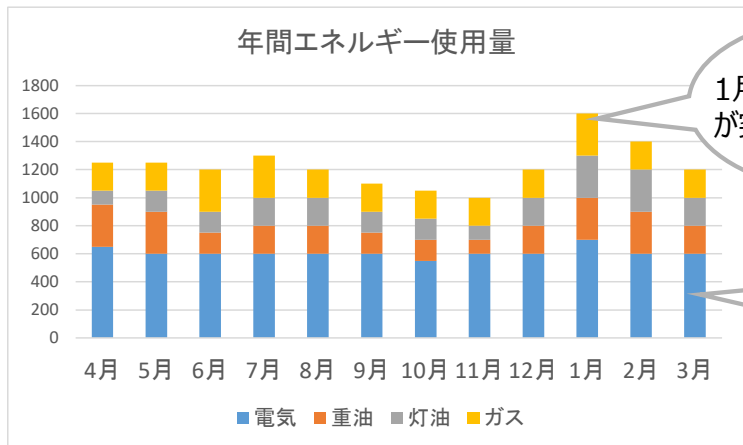
3. エネルギーの見える化とは ～現状を把握すること～

「エネルギーの見える化」とは？

- 収集した情報やデータを表やグラフなど目に見える形にすることにより、現状を把握し、問題点の注出、改善へつなげる取組です。
- 「見える化」された資料は、問題意識を高め改善する努力を行うための大切な情報源です。



- ・電気料金請求書
- ・重油、灯油、ガス請求書
- ・生産数量
- ・管理日報、点検記録
- ・売上高、従業員数
- ・設備の仕様



- ・設備の運転状況を見直そう。
- ・生産ラインの集約化を図ろう
- ・設備の異常の有無を調べよう。
- ・電力のピークを分散しよう。